

Kyoto Movie Platform  
*Kyoto Awards  
Movie*



・Oseibo(bee) / Yagi, Kyoto. Photo by Yukihiro-Hirose

伝えよう、あなたの想い。  
残そう、あなたの記憶。  
きっと誰かがつないでくれる……。

「見る」、「撮る」、「伝える」。

● あなたの映像が時代を変える

◎まちの記憶と未来

【京都映像アワード】

平成23年度京都府地域力再生プロジェクト支援事業採択

募集要項

# 京都映像アワード

# OPEN for Submission!

作品募集中!

Catch Your Chance!

京都映像アワードは短編映画を募集しています。あなたの身近なシーンを映画に! テーマは自由です。あなたが伝えたい、見てもらいたいと思ったことをテーマにしてください。

- ・地域の歴史や文化、しきたり、風物の記録
- ・身の回りの出来ごとやニュース
- ・自然環境、観光資源、地域の風景自慢
- ・教育の取り組み、伝えたい教え
- ・残しておきたい地域の産業、巧みの世界
- ・ドキュメンタリー
- ・フィクション・ドラマ
- ・アニメーション・アート
- ・その他、ジャンルは問いません

あなたがいないと見つけられなかったシーンをぜひ短編映画にしてご応募ください。

★優秀作品は、教材や地域活性、産業支援に活かされます。詳細は出品要項をご覧ください。

「まちの記憶と未来」京都映像アワードについて

## 「映像は力です」

京都映像アワードは、普段私たちの身の周りにある「モノやコト」に目を向け、私たちの日常に潜む優れた価値を掘り起こし、再発見しようとするものです。

私たちの生活は、一つバランスが崩れると思ってもかけないところに影響が出たりします。しかし、その事は、実際に自分の身に降りかかると実感できません。雨が降り続けると天気が恋しくなり、日照りが続くと雨が欲しくなる。虫が嫌いだ!と虫を駆逐すると、花の受粉ができなくて農家が打撃を受けたり、別の虫や生き物が死滅したり大量発生したり、人間の生活までがおかしくなってきます。

農林漁業、地場産業、さらに輸出や世界経済にまで影響が出てしまいます。結局は私たち人間の生活に直接影響が出るのです。私たちの暮らしに在る文化や宗教、しきたりなど目に見えない価値も同じです。だからこそ人類は、古代から自然や生き物との共存共棲をもとに、そこに人類の知恵を重ね合わせて命をつないできたのです。

そこで、＜京都映像アワード＞では、急速に変化する時代にあって、利便さと効率だけを追求する社会で捨て去られようとしている大事なものを、見落とさないように残し、再生させようと考えています。取り返しがつかないようにならない前に。そのためには、みんなに知ってもらおう。いい事も悪い事も。そして、みんなで考える。

私たちひとり一人が想像力を働かせ、持続可能な素敵な地域社会を創るための第一歩です。

「映像は、力です」。あなたの想いを伝えてください。

.....

地域がもつ資源が何なのかを地域住民の間で共有し、どのような情報をどういった形で発信すべきかの精査を住民自身が行えるようになることが重要です。そこで、映像というツールを用いて、地域の資源や特徴を映像に記録し発信することで、地域住民自身が地域の持つ良さや特徴を認識するだけでなく、地域の特徴や文化を地域外の人々に紹介する場として＜京都映像アワード＞をご利用ください。

プロフェッショナル、アマチュアを問わず、全国の映像作家が作品を応募できるコンペティションの場を提供します。すべての応募作品の中から選ばれたノミネート作品は、2012年10月に開催予定の「第6回京都国際インディーズ映画祭」において上映と、グランプリをはじめとする各賞を授与します。

「まちの記憶と未来」京都映像アワードは、皆様からの作品のご応募をお待ちしています。

「まちの記憶と未来」京都アワード 代表：広瀬之宏

Kyoto Movie Platform  
*Kyoto Movie Awards*

## “まちの宝”を発信するステーション

広瀬之宏 —— HIROSE-Yukihiro

「まちの記憶と未来」京都映像アワード 代表  
京都国際インディーズ映画祭 代表  
京都メディア・アート・ラボ 代表

2007年、第一回・京都国際インディーズ映画祭の開催から6年。私たちは世界の短編映画を上映し、映像に込められた世界のメッセージを届けてきました。その間、たった数年で急速に発展したネット環境は、日々の私たちの生活様式も価値観も変えてしまいました。

急速に進化するネット社会においては、もはや地域とか世界といった区分けも境界もなくなっているのです。大空を飛ばたく白鳥や大洋を移動するクジラたちのように、ネット情報は、自由に地球を駆けめぐっています。そこには人間の作った国境なんてありません。あるのは一つの地球だけ。言葉や文化、宗教の違いなど民族の結界を越えて、地球の何処にいても、誰もがつながり共有できる。これが今始まった新しい世界です。

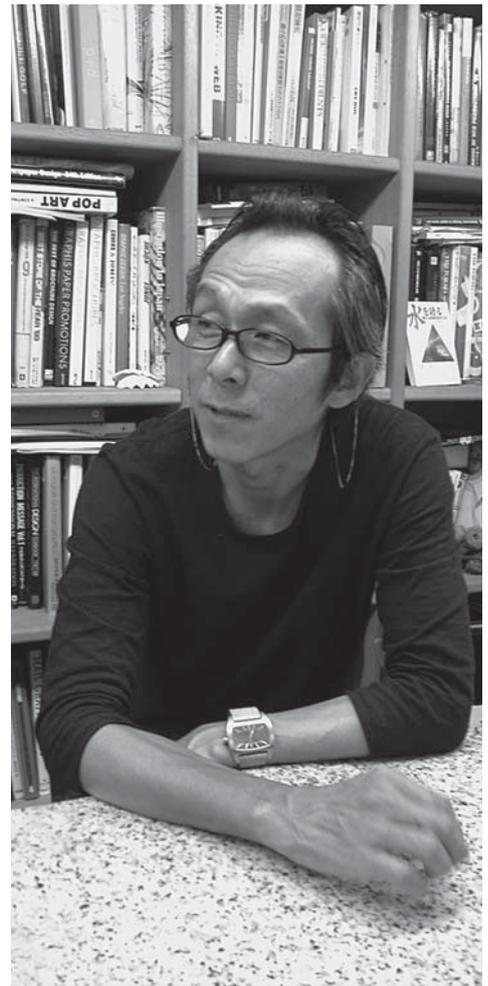
しかしながら、それと引き換えに、置き去りにされた過去の生活価値を取り戻す動きも活発になってきています。

いま日本では、バブル崩壊後、高齢化と少子化にともない限界集落がその裾野を拡げています。いままで栄えてきた産業や文化も危機に瀕しています。地域力を向上させる為に、地域情報の発信力を高めていくことと、住民自身が自らの地域の伝統や特徴を見直す必要があることが課題として挙げられます。こうした課題を解決するためには、地域がもつ資源が何なのかを地域住民の間で考え、どのような情報をどういった形で発信すべきかの精査を住民自身が行えるようになることが重要です。そこで、本事業では映像というツールを用いて、地域の資源や特徴を映像に記録し発信することで、地域の特徴や文化を地域外の人に紹介する一助になればと考えています。

この活動に京都府が理解して頂いた事は、本当に嬉しい限りです。京都は古い歴史に支えられ、いまでも自分たちの生活資源（文化、しきたり、様式など）を本当に大切に引き継いでいます。文化の伝承は、損得勘定を越えた意識がないと持続できません。都人の格式に支えられた京都。だからこそ京都は、日本人の古里として愛されるし、誇れるのです。人と人の距離が近い町、京都。ここから京都映像アワードは、「人が生きる姿」を追いかけます。

本事業は、〈まちの宝〉を発信するステーションです。学校教育や生涯教育、地域のPR活動、創作活動などで利用できることも目指しています。

あなたの作品は、「未来への手紙」。きっと誰かに届くはず・・・



■広瀬之宏（ひろせ・ゆきひろ） 1952年京都府南丹市生まれ。大阪芸術大学デザイン学科卒。クリエイティブ・ディレクター。有限会社ハーディセカンド代表。京都国際インディーズ映画祭代表。京都メディア・アート・ラボ代表。神戸女学院大学非常勤講師。広告制作、編集、出版、イベント、商品開発などのクリエイティブ活動の他、行政の地域振興計画策定、環境計画などの企画運営コンサルや障害者福祉の運営計画などに携わる。自然環境や教育、アートをテーマにした活動など多彩。美術文化展奨励賞、グッドデザイン賞、国立大学優秀広報誌表彰・最優秀賞・最優秀デザイン賞受賞など多数。現在、映像制作をはじめ自然環境とアート、教育を軸に世界ネットのインディーズ映画の動画配信を仕掛け、ネットテレビ局・京都メディア・アート・ラボ（京都府支援事業）の事業化やデジタル教科書コンテンツの制作を進めている。著書に、点字と絵本の同時訳本「友だちがきました」、「答えは一つとは限らない」（遊タイム出版）など。

## 「小さな映画」の時代が始まっている

杉原賢彦 —— SUGIHARA-Katsuhiko

映画批評家／慶應義塾大学講師

CON-CAN ムービー・フェスティバル顧問

「まちの記憶と未来」京都映像アワード顧問

この日本にいったい、いくつくらい映画館、より正確に言えばスクリーン数があるかご存じだろうか？ 1990年代、スクリーン数は2000を割り込み危機的状況が叫ばれた。その後、21世紀以降は上昇に転じ、2010年には3400スクリーン余にまで増やしてきた。

ところが、昨年、この数字がマイナスへと転じた。

原因はもちろん、東日本大震災にある。しかしまた、今後、映画が爆発的に復権するなどという見込みもない。もはや、映画館は街中のデッドスペースと化し、映画は廃れてしまうのだろうか。

いやむしろ、こう言ったほうが適切ではないか。中身の薄い、暇つぶしにしかないような娯楽映画が、なにかほかの娯楽にすり替わりつつあると。そうでなければ、〈世界の現状〉を写そうとしたドキュメンタリー映画——『ダーウィンの悪夢』や『華氏911』などに、あれほどの注目が集まり、ヒットもしなかったはずだ。映画をどう使うか。それが、いま、問われようとしているのだ。

その答えらしきものを、ぼくは京都で見つけつつある。

京都メディア・アート・ラボの活動を通して知り合いになったKHさんの話を聞いたときのことだ。彼は農作業や農村の風景を伝えたくてデジタル・ビデオを購入したという。もちろん、農村の現場をとらえた映像はあふれるほど存在している。だが、それらのうちどれほどが、その地域に根ざしたものとして撮られ、見られているだろうか。KHさんの思いは、自分の身近にいる人たちの現実を見せたいというものだ。

地産地消という言葉があるなら、地撮地紹という言葉が無理やりつくってもいいだろう。その地と人を、その地にいる人たちにまず紹介し、そこから世界を知ってゆく……そんな小さな映画があってもいいはずだ。

京都映像アワードが目指す地点もそこにある。地域の実情を知ることから見えてくるもの、そしてそこから始まる地域活性化の時代へ。小さな映画の出番が来ている——。



■杉原賢彦（すぎはら・かつひこ）1962年兵庫県生まれ。映画批評家、慶應義塾大学講師。CON-CAN ムービー・フェスティバル顧問。日本フィルムアート社「シネ・レッスン」シリーズや『アートを書く！』などにおいて、映画および映画批評に関する考察を執筆。また、紀伊國屋書店発売DVDの解説を多く手がけているほか、IVC フランス文芸DVDシリーズの解説も執筆。それに並行して、慶應義塾大学、目白大学などで映像／映画に関する講義を担当。

## 京都映像アワード

## 応募用紙 ①

Kyoto Movie Platform  
Awards  
Movie

※応募フォーム全ての項目について、漏れなく記入してください。(応募用紙はコピー可)

## 監督情報

## ●氏名

ふりがな

## ●応募作品名

ふりがな

## ●生年月日 (西暦)

年 月 日

## ●年齢

歳

## ●性別

男 女

## ●出身地

都・道  
府・県

## ●職業・学校名

会社員 / 派遣社員 / 自営業 / 公務員 / アルバイト・フリーター / 映画監督・映像作家 / 主婦

専門学校生 / 大学院生 / 大学生 / 高校生 / 中学生 / (学校名: )

無職 / その他 ( )

## ●プロフィール (200文字以内)

## ●主な上映歴・受賞歴 (・制作年月日・作品名・会場名・映画祭名・受賞)

## 応募責任者

## ●応募責任者名

ふりがな

## ●応募団体名 ※個人の場合は不要

ふりがな

## ●住所

〒 □□□ - □□□□

都・道  
府・県

(市・区・町・村)

(マンション名・アパート名)

## ●固定電話番号

( ) -

## ●携帯電話番号

( ) -

## ●FAX番号

( ) -

## ●Eメールアドレス

@

## ●ホームページアドレス

http://

## 京都映像アワード

## 応募用紙 ②

Kyoto Movie Platform  
Awards  
Movie

※応募フォーム 全ての項目について、漏れなく記入してください。(応募用紙はコピー可)

## 応募作品情報

## ●作品名

ふりがな

## ●監督名

ふりがな

## ●完成年月日

年 月 日

## ●プレミア (初公開)

はい いいえ

## ●制作国 / 使用言語

/

## ●上映時間

分

## ●カラー

カラー 白黒 パートカラー その他 ( )

## ●字幕 (外国語の言語は、日本語字幕をつけてください)

字幕なし 日本語 英語 その他言語 ( )

## ●フォーマット

応募は DVD にて受け付けます。

DVD (コピーガード無しのもの) ※フィルム、VHS、S-VHS は不可

## ●サウンド

ステレオ モノラルサイレント

## ●システム

NTSC PAL

※NTSC 推奨

## ●スクリーンサイズ

4:3 スタンダード 16:9 ワイドスクリーン レターボックス

## ●撮影機材 (メーカー名 / 機種名)

/

## ●編集ソフト (メーカー名 / 型名)

/

## ●スタッフ・出演者名

[プロデューサー]

[制作会社]

[学校名 (学校制作の場合)]

[脚本]

[撮影]

[編集]

[録音]

[音楽]

[出演者]

## ●作品ジャンル

フィクション ドキュメンタリー アニメーションCG アート その他 ( )

## ●作品テーマ

自己 / 家族 地域 / 社会 自然 / 環境 文化 / 芸術教育 / 学校 経済 ヒューマニティー ドラマアクション アドベンチャー コメディラブロマンス ホラー サスペンス / スリラーミュージックビデオ SF ファンタジー性描写・暴力描写を含む作品 その他 ( )

## ●作品のみどころ・あらすじ (200 文字以内)

## 著作物の使用

作品の中で肖像権、著作権、著作隣接権等その他の権利が生ずる場合は、応募代表者の責任において原著作者や被写体等から事前に書面にて承諾を得てください。それらの書面のコピーを添えて応募してください。詳しくは「京都映像アワード・参加同意書」をご覧ください。

## ●既成音楽を使用していますか？

なし あり (許諾: 済み なし) 使用曲 ( )

## ●テレビ、ラジオなどの映像、音声を使用していますか？

なし あり (許諾: 済み なし) 使用映像・音声 ( )

## ●漫画、小説などの原作や新聞、雑誌、商品キャラクターを使用していますか？

なし あり (許諾: 済み なし) 使用作 ( )

## 応募作品の使用権

本アワードへの応募は、その作品の権利保持者のみによる応募に限り、著作権 (その他の知的財産権を含みます) が帰属していない、または著作権の利用権を得ていない作品は、応募できません。詳しくは「京都映像アワード・参加同意書」をご覧ください。

●応募作品を使用する権利を持っている はい いいえ

## 送付物チェックリスト

参加同意書 (署名、捺印済み)応募作品 (記録メディア: DVD ※コピーガード無しのもの)応募用紙① 応募用紙②作品のスチル写真 (2 点以上) 監督の写真 (1 点以上)

※応募作品は返却いたしませんので、コピーを送付してください。

作品のスチル写真、監督の写真につきましても同様に返却いたしません。

# 「まちの記憶と未来」京都映像アワード／参加同意書

## A：応募について

応募代表者は、応募作品が「京都国際インディーズ映画祭」および「京都映像アワード」主催のイベントおよび web サイトにて上映されることを承認します。

本アワードへの応募は、その作品の権利保持者のみによる応募に限ります。  
複数の作品に応募された場合は、各 1 作品につき 1 エントリーとして扱われます。

応募作品の選出の権限は、京都映像アワード実行委員会が持つこととします。

本アワードは、表現の自由を尊重しますが、法令、何らかの契約、または公序良俗等に反した作品に関しては、エントリーから除外する場合があります。

また、応募作品を原因として紛争が生じた場合、京都映像アワード実行委員会は一切の責任を負いません。

応募用紙の記載内容の不備、虚偽記載等があった場合、または応募規定違反、その他違反等が生じた場合、京都映像アワード実行委員会は責任を負いません。

また応募作品は返却いたしませんので、コピーを送付してください。提出された作品は、京都映像アワード実行委員会の判断により、同委員会にて保存、または破棄させていただきます。

## B：著作権について

応募代表者に著作権（その他の知的財産権を含みます）が帰属していない、または著作権の利用権を得ていない作品は、ご応募できません。監督、作者、音楽家、制作者等、作品の著作権をご確認のうえ、著作権をお持ちの方全ての同意を得てください。特に、過去に商品化等された作品については、当時の契約関係をご確認のうえ、ご応募ください。

## C：作品に使用される第三者の著作権について

作品の中で使用する音楽は、自らが作詞、作曲、演奏したオリジナル楽曲、もしくは著作権および著作隣接権が消滅している音源を使用してください。著作権等管理事業者に管理委託されている楽曲の使用はできません。

作品の中で肖像権、著作権、著作隣接権等その他の権利が生ずる場合は、応募代表者の責任において原作者や被写体等から事前に書面にて承諾を得てください。それらの書面のコピーを添えて応募してください。

応募代表者は、応募作品が著作権、その他の知的財産権等の第三者のいかなる権利も侵害していないことを保証してください。第三者からのこれら権利侵害等の苦情（訴訟も含みます）があった場合には、自らの責任で解決してください。応募が原因で何らかの損害が発生した場合、京都映像アワード実行委員会は一切の責任を負いません。

D：作品配信時の再生不具合について

作品配信時の再生不具合によって発生する応募者に対する損害については、京都映像アワード実行委員会は一切の責任を負いません。

## E：違法コピー対処法について

京都映像アワードは、作品は配信の違法コピー対処法として、ウォーターマーク（京都映像アワード・KMA ロゴ）方式を採用しています。第三者による作品配信の違法複製・コピー等行為に関しましては、応募代表者に損失や損害が発生した場合でも、京都映像アワード実行委員会は一切の責任を負いません。

## F：個人情報の取り扱いについて

応募代表者は、京都映像アワード実行委員会が、作品関係者および関係団体の氏名、名称、住所、メールアドレス、電話番号等の（個人）情報を京都映像アワードの運営・製作機関に対し、口頭または書面により開示することを承認します。

応募代表者は、京都映像アワード実行委員会が、プライバシーポリシーに掲載する目的の範囲で個人情報を利用することを承認します。

応募代表者は、京都映像アワード実行委員会が、その運営に必要な範囲においてこれらの（個人）情報を保管することを承認します。

また、応募時点からこれらの情報に変更があった場合、応募代表者はその責任において京都映像アワード実行委員会に変更後の情報を通知するものとします。

## G：有効期限について

本同意書の有効期限は、2012 年 1 月から 5 年間とします。

京都映像アワード実行委員会は、有効期間内、本同意書に従って入選作品を京都映像アワードの web サイトにて使用できるものとします。

また、当初の同意、または更新された期間の満了する日より 3 ヶ月以上前までに一方当事者が相手方に対し、更新拒絶の意思表示を通知しない限り、本契約は引き続き 1 年ごとの期間で自動更新されます。

●応募に際し、上記注意事項を理解の上、これに同意いたします。

「まちの記憶と未来」京都映像アワード 殿

2012 年 年 日

作品名「

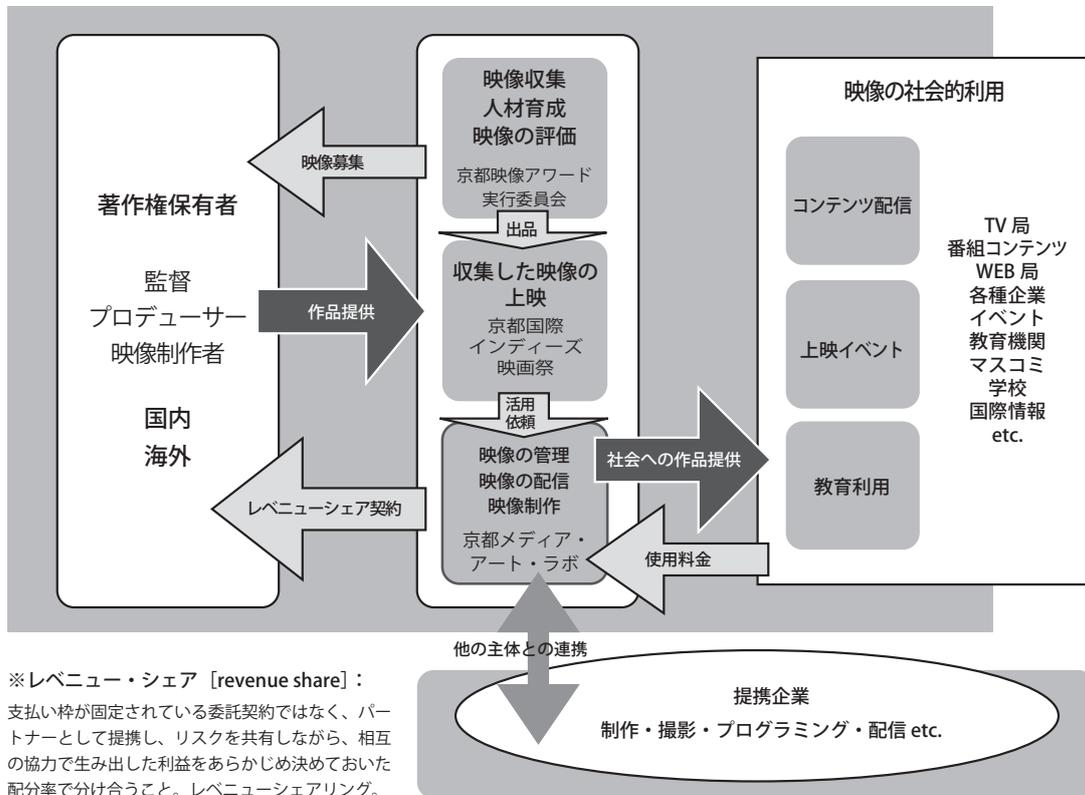
応募責任者氏名

印

※日付・作品名・書名・捺印（認印）のないものは無効となります。ご注意ください。  
※拇印不可。 ※参加同意書はコピー可

# 京都映像アワード 「レベニュー・シェア・プログラム」のご案内

## ▼ 京都映像アワードに関わる各主体の関係図



京都映像アワードでは、全ての映像作家にその門戸を開き、作家の作品に込めたメッセージを世界の視聴者に届けることを使命としています。この活動を通して、作家と社会をつなぎ、主に教育や公共面において作品上映の機会が発生し、収益が生じた際には、作品の権利保有者に対して利益を還元する事を目的とした「レベニュー・シェア・プログラム」を設け、提案させて頂いております。

このプログラムは、ショートフィルムの認知度が低いと言われている日本において、ショートフィルムが文化的、教育的に利用される場合に有効で力を持ったコミュニケーション・メディアであることを知って貰う事を目的としています。本プログラムに賛同いただける作家の方に対して日本国内におけるライセンスとなり、公的な施設を始め、大学や高校といった教育機関における映像作品のプログラミング、上映、放送、自動公衆送信、DVDパッケージの提供などといった、主に文化、教育目的にフォーカスした配給を行っていきます。また、商業的な利用が可能な場合も、需要の可能性を探り、対応してまいります。このような活動の対価として売り上げが生じた場合、その利益を作家とシェアする事で、作家の活動を支援するとともに、より多くの視聴者に作品の文化的、教育的な価値を深く理解していただけるプログラムと考えています。

京都映像アワードへ応募予定の皆様にはぜひこのプログラムをご理解、ご利用いただき、少しでもショートフィルムの認知度を広げ、次回の作品制作の一助としていただければ幸いです。

「レベニュー・シェア・プログラム」への登録を希望される方は、作品の審査後に追って事務局から手続きのご連絡を致します。

\*「レベニュー・シェア・プログラム」への参加・不参加が、映画祭への作品審査に影響する事は一切ありません。  
 本プログラムへの参加・不参加の情報は予備審査、及び国際審査関係者には一切公表されません。

## ◎「まちの記憶と未来」京都映像アワード実行委員会

### ◎代表

広瀬之宏

(京都国際インディーズ映画祭代表  
京都メディア・アート・ラボ代表)

### ◎副代表

佐々木伸也

(STYLE 代表)

### ◎顧問

杉原賢彦

(映画批評家/慶應義塾大学講師  
CON-CAN ムービー・フェスティバル顧問)

### ◎監査

荒川崇志

(京都府府民生活部府民力推進課・  
協働コーディネーター)

### ◎会員

浅田雅人

(NPO 法人 場とつながりラボ home's vi)

井原久美子

(京都府政策企画部情報政策課・主事)

高嶋加代子

(京都ラジオカフェ(株)プロデューサー)

谷元浩之

(株)メディア総合研究所 CON-CAN プロデューサー)

### ◎支援

平成 23 年度京都府地域力再生プロジェクト支援事業

### ◎協力

(株)メディア総合研究所 CON-CAN ムービーフェスティバル

(株)映像システム

(有)ハーディセカンド

京都ラジオカフェ株式会社

京都国際インディーズ映画祭

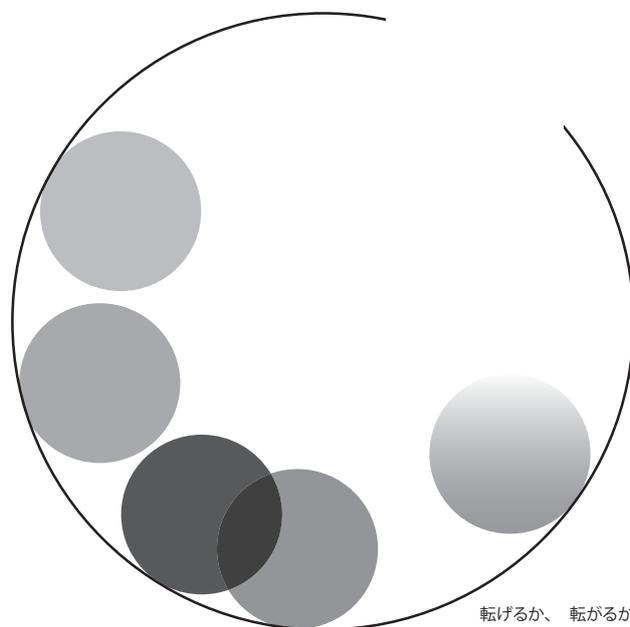
京都メディア・アート・ラボ

今井悟朗

小林義弘

岡崎まゆみ

徳山拓一



転げるか、転がるか

## ■「まちの記憶と未来」京都映像アワード

発行日：平成 24 年 3 月

発行：「まちの記憶と未来」京都映像アワード

編集：有限会社ハーディセカンド

印刷：株式会社恒和プロダクト

## 「まちの記憶と未来」京都映像アワード実行委員会

代表：広瀬 之宏 ・ 京都府南丹市八木町・お問い合わせは下記事務局へ

◎事務局：〒 542-0081 大阪市中央区南船場 2-10-28 下村ビル 404 号

(有)ハーディセカンド内・「京都映像アワード」係

TEL.06-6241-0522 / FAX 06-6243-1219

E-mail : h2d.hirose@poppy.ocn.ne.jp

■平成23年度京都府地域力再生プロジェクト支援事業

Kyoto Movie Platform  
*Kyoto Awards  
Movie*

◎「まちの記憶と未来」京都映像アワード



◎京都国際インディーズ映画祭

**MediaLa**  
KYOTO Media Arts Lab. Information

◎京都メディア・アート・ラボ

映像をもつと自由に！  
私たちは、  
あなたの想いを届けます。